



News Letter

Vol.
30

神戸市が実施する犯罪被害者と そのご家族への支援

神戸市長 久元 喜造



公益社団法人ひょうご被害者支援センターの皆様方におかれましては、平素より犯罪被害者等支援にご尽力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。

神戸市では、条例施行以前より、相談窓口の設置や命の大切さを学ぶ授業を実施してきましたが、より総合的な犯罪被害者等支援を行うために、平成25年4月1日より「神戸市犯罪被害者等支援条例」を施行しております。これまで、公益社団法人ひょうご被害者支援センターなど犯罪被害者等支援に携わる機関を中心に、本市の支援について多くのお問い合わせをいただき、実績を積んできました。

条例施行時の平成25年は、全国的にも犯罪被害者等支援を行っている自治体はわずかでしたが、約5年が経過した現在では、支援に取り組む自治体が増えてきました。この間、国では、直接の被害者だけでなく、兄弟姉妹が被害に遭った子どもに対する支援などを記載した「第3次犯罪被害者等基本計画」が平成28年に策定され、また、国外で犯罪被害に遭った人や遺族への補償を定めた「国外犯罪被害弔慰金等の支給に関する法律」が施行されるなど、被害者支援に関する法制度等も整いつつあります。本市では、支援金の支給や、家事援助費、一時保育費、緊急転居費の助成を設け、被害者とそのご家族の経済的負担の軽減と申請手続きの迅速な対応を心がけておりますが、社会状況や被害者団体等の意見を踏まえ、犯罪被害者等支援の更なる充実を図ってまいりたいと考えています。

しかしながら、行政の支援内容をいかに充実させたとしても、地域全体で被害者のご家族のお気持ちに寄り添い、支え合うことができなければ、被害者のご家族が平穏な日常を取り戻すことはできません。本市では、窓口業務を担当する職員や消防職員に対し、犯罪被害者等支援の研修を実施するだけでなく、地域の方々への説明会や犯罪被害者週間講演会、グリーンケア講座、パネル展などの啓発活動を公益社団法人ひょうご被害者支援センターにご協力賜りながら実施してまいりました。今後も、できる限り多くの市民の皆様は犯罪被害と支援についてご理解いただく機会を提供してまいります。

犯罪被害に遭っても市民が再び安心して暮らせることができるよう、互いに支え合う地域社会の実現に努めてまいりますので、支援に携わっておられる皆様方には、引き続き本市の犯罪被害者等支援にご協力賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、公益社団法人ひょうご被害者支援センターのさらなるご発展と皆様方のご健勝並びにご活躍を祈念しております。

公益社団法人 ひょうご被害者支援センター電話相談 祝日・12/28～1/4・8/12～8/16は除く

犯罪被害全般

なやみみんな

☎078-367-7833

火・水・金・土 午前10時～午後4時

性被害専用 性被害ケアセンター よりそい

なやみなし

☎078-367-7874

月・火・水・金・土 午前10時～午後4時

平成29年度支援活動（犯罪被害全般）

◆電話相談被害種別件数

種 別	件 数		
	27年度	28年度	29年度
殺 人	40	19	16
強 盗	7	8	2
強 姦	57	84	68
強制わいせつ	58	62	39
その他の性被害	29	36	35
暴行傷害	112	89	86
交通事故	19	58	45
財産被害	31	15	13
DV	107	133	31
ストーカー	8	7	21
虐 待	5	5	5
その他	223	222	296
合 計	696	738	657
年間相談日数	196日	195日	197日

◆支援内容別件数

付添い先	件 数		
	27年度	28年度	29年度
警察	9	10	2
裁判所	69	95	53
検察庁	15	22	25
行政窓口等	2	6	3
医療機関	4	1	16
弁護士事務所	48	42	27
法律相談(無料)	68	72	98
心理相談(無料)	1	3	2
代理傍聴	88	102	115
自助グループ支援	6	7	7
その他	1	4	1
合 計	311	364	349

◆面接相談種別件数

種 別	件 数			
	27年度	28年度	29年度	
法律相談 (弁護士)	68	71	98	
心理相談 (臨床心理士)	45	76	72	
犯相 罪 被 害 員	初回	95	81	121
	継続	7	11	5
合 計	215	239	296	

平成29年度ひょうご性被害ケアセンター「よりそい」支援活動

電話相談		支援内容別件数		面接相談種別件数		
受案件数	年 間 相談日数	付 添 い		法律相談 (弁護士)	心理相談 (臨床心理士)	犯罪被害 相 談 員
		病 院	法律相談			
266	240	1	7	7	18	15



「よりそい」医療研修

よりそい1年をふりかえって

ひょうご被害者支援センター事務局長 田中 実恵子

29年4月、兵庫県からの委託を受け、性被害ワンストップセンター「ひょうご性被害ケアセンターよりそい」がスタートしました。 あっという間の1年だった気がします。

1年前、電話を受ける支援員は、産婦人科医師、臨床心理士、弁護士、また、すでに相談電話を開設している他県の相談員の話聞き自らも勉強しながら、相談電話の前に座りました。

相談の内容は、幼少期に受けた性被害、お子さんが被害に遭われたお母さんからの相談が多く、1件1件丁寧にお話しを聞かせていただきました。

29年度は、266件の相談を受けました。このうち初回面接15件、法律相談7件、心理相談18件につなぐことができました。

まだまだ、相談電話の認知度は低いと感じています。この電話をたくさんの方に知って頂き利用して頂きたいと思います。

命の大切さを学ぶ授業 活動報告

～被害者にも加害者にもならない社会づくりのために～

犯罪被害に遭われた方への理解を深めるために、ひょうご被害者支援センターは、兵庫県警察本部との共催で、県内の中学生・高校生を中心に、かけがえのない命について、友達や家族と真剣に考える機会をお届けしています。生徒の皆さんからは「命を奪うのは簡単だが、救うことは難しいとわかった」「毎日を悔いのないように生きたい」などの感想が寄せられています。

実施場所	内 容 (*)	受 講 生	
兵庫県立湊川高校 (定時制)	犯罪被害者ご遺族による講話	全校生	130名
神戸市立烏帽子中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	2年生	96名
神戸市立鷹取中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	1年生	156名
神戸市立横尾中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	1・2年生	193名
啓明学院	犯罪被害者ご遺族による講話	全校生	520名
神戸市立本庄中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	全校生	754名
私立神戸星城高校	犯罪被害者ご遺族による講話	1年生	420名
兵庫大学附属 須磨ノ浦高校	犯罪被害者ご遺族による講話	全校生	1,000名
兵庫県警インターシップ	犯罪被害者ご遺族による講話	大学生	21名
加古川市立志方中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	3年生	60名
高砂市立阿弥陀小学校	犯罪被害者ご遺族による講話	5・6年生	185名
神戸市立西落合中学校	センター相談員による手記の朗読とデジタル紙芝居	1年生	100名
神戸野田高校	犯罪被害者ご遺族による講話	全校生	1,100名
神戸市立湊川中学校	犯罪被害者ご遺族による講話	全校生	335名
芦屋市立朝日ヶ丘小学校	犯罪被害者ご遺族による講話	6年生	62名
私立神戸村野工業高校	犯罪被害者ご遺族による講話	2年生	519名
		合 計	5,651名

*どの授業にも、兵庫県警より被害者支援の実情についてのお話を含みます。

◆年度別実施校数・人数

年 度	21	22	23	24	25	26	27	28	29
校 数	5校	20校	21校	22校	29校	22校	27校	25校	16校
総人数	2,250名	4,600名	6,600名	8,359名	6,920名	5,291名	7,457名	8,521名	5,651名
						合 計		187校	55,649名

「ホンデリング」にご協力のお礼 ～本で支援の輪 (リング) が広がってほしい、という願い～

昨年は一年間で134件12,930冊の取り扱いで223,545円のご寄付を頂きました。厚くお礼申し上げます。

不用になった本・CD・DVDでご寄付をいただく社会貢献プロジェクトです。引き続きご協力をお願いいたします。

読み終わった不用な本、CD、DVDを「贈与承諾書」と共に梱包し、買い取り業者「株式会社バリューブックス」Tel 0120-826-295にお電話いただくと、ご指定の時間に宅配業者が集荷に伺います。株式会社バリューブックスにて、ご寄付いただいた本を査定し、査定金額がひょうご被害者支援センターに寄付されます。

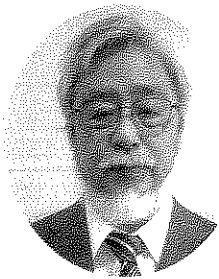
※「贈与承諾書」は事務局 (078-362-7512) にお申し付け下さるか、ひょうご被害者支援センターのホームページからダウンロードしてください。

また、「ホンデリング」のポスター (A2版) を作成いたしましたので、職場等の掲示にご協力をお願いいたします。



ひょうご被害者支援センターの16年をふりかえって

ひょうご被害者支援センター 理事 冨永 良喜



ひょうご被害者支援センターは、兵庫県警察のバックアップを受け、2002年（平成14年）1月任意団体として設立されました。理事長には中井久夫（精神科医）、副理事長には加藤寛（精神科医）、井関勇司（弁護士）、杉村省吾（臨床心理士）があたりました（本センター役員については敬称を略します）。理事には、高松由美子（被害者の会）、弁護士3名、精神科医1名、臨床心理士3名、いのちの電話1名、そして、監事に土師守（被害者の会）と税理士1名で役員が構成されました。

この時期、犯罪被害者支援センターは各都道府県に設立されつつあり、全国で24番目の設立でした。必ずしも全国で先駆けて設立されたわけではありませんでしたが、犯罪被害者遺族が役員として参画したことが当時ははじめてで、本センターの理念と運営の支柱となるだけでなく、他の支援センターの活動に大きな影響を与えていきました。そして、2002年（平成14年）4月犯罪被害者遺族の会「六甲友の会」立ち上がり、月例会に私も同席する機会をえました。当時わが国の犯罪被害者支援は、法制度や支援の実際について欧米に30年遅れているのが現状でした。すなわち、遺影を法廷に持ち込めない、被害者が直接意見をいうことができないなど、被害者の基本的な権利は保障されていませんでした。「六甲友の会」の例会には、マスメディアの取材が何度もは入り、例えば、NHKスペシャル「犯罪被害者をどう守るのか」（2002年12月）では、全国犯罪被害者の会あすの会の海外での調査とあわせて他の被害者の支援を行う高松理事の活動が取り上げられました。そして、2004年（平成16年）12月8日、犯罪被害者等基本法が成立しました。「第三条 すべて犯罪被害者等は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい処遇を保障される権利を有する。」と犯罪被害者等の権利がはじめて明文化されました。

そして、2014年（平成26年4月）公益社団法人ひょうご被害者支援センターへと発展して今日に至っています。16年前と比べ、法律相談や心理相談の件数が増え、毎年相談員養成研修の成果により直接支援員や電話相談員が増えました。また、予防的活動である「命の大切さを学ぶ授業」にも取り組んでいます。なにより事務局体制が充実し、センターの部屋数も増えて活動を展開しています。被害者支援のニーズが高まるなか、さらなる相談室の確保や相談員のさらなる力量アップも求められます。被害者が声をあげることができる社会、被害者の権利が保障される社会の構築は、犯罪を抑止する力になると思います。本センターは会員の会費や多くの人の寄付によって維持されています。さらにより多くの方々の支援をお願いいたします。

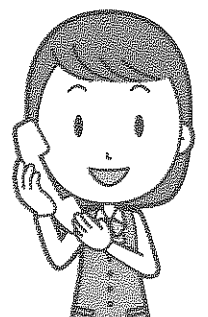
新しく、電話相談員になられた方の感想をお伺いしました。

17期生・電話相談員になって

「センターの活動に関わるようになってから、特に犯罪関連のニュースをじっくり聞くようになりました。たくさんの事件の裏側に、たくさんの被害者やそのご家族がいらっしゃることに改めて気づきました。」

「毎回緊張の連続で、慣れることはないと思いました。現実の事件、事故に関わるたびに責任の重さを感じています。」

「いつでも誰でも、犯罪被害に遭うと思いました。また、被害に遭っても、長い間誰にも相談できない方が多いことを知りました。」



ひょうご被害者支援センターでは、支援員としての質を向上させるために、毎月、それぞれの分野の講師をお招きし、支援員継続研修を行っています。平成29年度は下記の通り研修を行いました。

4月	「電話相談を受けるにあたって」	武庫川女子大学名誉教授 臨床心理士 本多 修
5月	「電話相談ロールプレイ・初級編」	ひょうご被害者支援センター 犯罪被害相談員
6月	「性暴力被害者の私が伝えたいこと」	性暴力サバイバーサロン「ぶれぜん」と 代表 ヤマトミライ
7月	「電話相談(法律編)・講義とロールプレイ」	若本法律特許事務所 弁護士 若本 修一
8月	「電話相談(心理編)・講義とロールプレイ」	大分県立芸術文化短期大学 教授 中島 暢美
9月	「被害者のご遺族の話を聴く」	六甲友の会犯罪被害者ご遺族 兵庫県臨床心理士会 会長 臨床心理士 羽下 大信
11月	「シンポジウム」	大阪高等検察庁 検事 田中 嘉寿子
12月	「支援員のストレスケア」	かささぎ心理相談室 臨床心理士 明石 加代
1月	「1年の活動報告」	ひょうご被害者支援センター 犯罪被害相談員
2月	「精神疾患の基礎知識・うつについて」	兵庫県こころのケアセンター 精神科医師 田中 英三郎
3月	「少年事件について学ぶ」	アーネスト法律事務所 弁護士 三宅 勇氣

命の大切さについて学ぶ～企業・団体様に向けての講演会への取り組み～

尼崎信用金庫様はホリデースクール「命の大切さを学ぶ～最愛の家族を突然失って～」を開催され、311名の役職員の皆さんが参加されました。講師の中曽根えり子さんは1999年4月ご長男(当時7歳)を新潟県内でダンプカーにはねられ亡くしました。



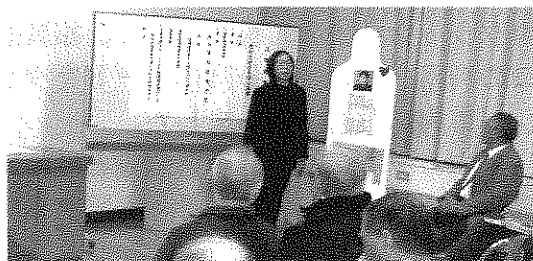
講演する中曽根えり子さん



講演する一井彩子さん

宝塚市立ひらい人権文化センター様は地域住民・学校教員・行政職員等(約50名)を対象として「いのちの大切さを考える」と題し「人権問題講演会」を開催されました。講師の一井彩子さんは1995年8月当時15歳のご長男を少年4人による集団暴行で殺害されました。今、一井さんは少年非行防止に取り組んでおられます。

姫路市立西御着総合センター様は地域住民人権研修として「命の大切さを学ぶ授業～犯罪被害者の人権を考える～」を開催し、約30名が参加されました。講師の高松由美子さんは1997年8月当時15歳のご長男を集団暴行により殺害されました。



講演する高松由美子さん

正味財産増減計算書 (平成29年度：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

収 入

(単位：円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
正会員受取会費	665,000	695,000	740,000	45,000
個人賛助会員受取会費	318,000	369,000	352,000	-17,000
団体賛助会員受取会費	2,320,000	3,420,000	3,000,000	-420,000
事業収益	2,232,272	2,182,740	2,036,261	-146,479
受取補助金等	6,740,000	8,396,000	13,070,740	4,674,740
受取委託金	4,710,000	5,033,000	11,269,384	6,236,384
受取寄付金	6,066,937	4,715,981	11,539,343	6,823,362
雑収入	9,033	8,988	8,526	-462
小 計	23,061,242	24,820,709	42,016,254	17,195,545
正味財産期首残高	9,160,979	10,750,438	11,400,513	650,075
合 計	32,222,221	35,571,147	53,416,767	17,845,620

支 出

勘定科目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	前年度比
事業費	13,622,496	15,834,295	25,747,855	9,913,560
管理費	7,849,287	8,336,339	8,865,260	528,921
固定資産除却損	0	0	202,669	202,669
小 計	21,471,783	24,170,634	34,815,784	10,645,150
正味財産期末残	10,750,438	11,400,513	18,600,983	7,200,470
合 計	32,222,221	35,571,147	53,416,767	17,845,620

平成29年度の内容を6月10日開催の総会議案として上程しています。

貸借対照表 (要約) (平成29年度：平成29年4月1日～平成30年3月31日)

資産の部

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	前年度比
流動資産	10,562,060	11,269,169	4,757,161	-6,512,008
固定資産	329,739	289,109	14,018,623	13,729,514
資産合計	10,891,799	11,558,278	18,775,784	7,217,506

負債・正味財産の部

	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	前年度比
流動負債	141,361	157,765	174,801	17,036
正味財産	10,750,438	11,400,513	18,600,983	7,200,470
負債・正味財産合計	10,891,799	11,558,278	18,775,784	7,217,506

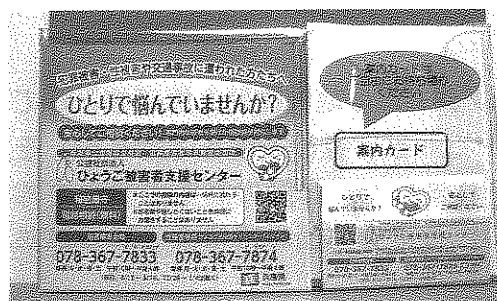
概要説明：

平成29年度は「性被害ケアセンターよりそい」の運営委託業務開始により事業費が大幅に増加いたしました。収入では「よりそい」運営委託金と日本財団からの事務所移転に伴う助成金収入により受取補助金と受取委託金が増加しましたが、賛助会費収入は減少しましたが、寄付金の増加により、正味財産は増加しました。正味財産増加のうち、事務所移転に伴う固定資産の増加がありました。尚、平成29年度から、指定正味財産は固定資産に計上いたしました。

県下のタクシー500台で相談窓口を紹介

一般社団法人兵庫県タクシー協会様やタクシー会社様のご協力を得て、相談窓口の利用を呼び掛ける案内カードをタクシー車内に設置いたしました。

案内カードには犯罪被害全般と性被害専用「よりそい」の電話番号を記載しています。



神戸新聞に掲載

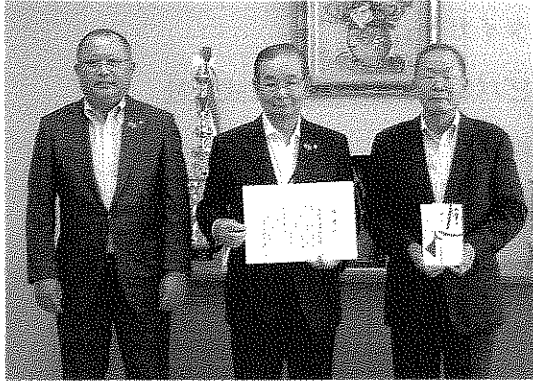
～感謝～

ご寄付をいただきました

株式会社大栄様は兵庫県を中心として不動産賃貸業、中古住宅のリノベーション事業を営み、設立以来39年、会社経営理念の基、地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでおられます。



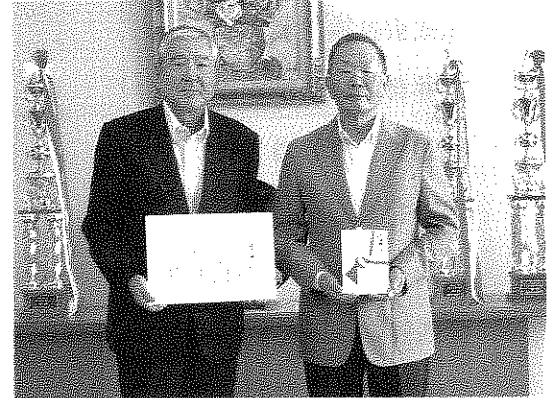
写真右 株式会社大栄 生島社長
左 センター 羽下副理事長



写真左から 尼崎信用金庫 作田理事長・橋本会長
センター 井関理事長

一般財団法人尼信地域振興財団様は社会貢献活動を通じ、永年にわたり地域のコミュニティ活動や文化事業など幅広い活動を支え、地域社会の振興発展づくりに尽力されています。

尼信かなめ会様は尼崎信用金庫様のお取引先を中心とした組織で、会員相互の親睦と事業の発展及び地域社会への貢献に寄与することを目的にしておられます。



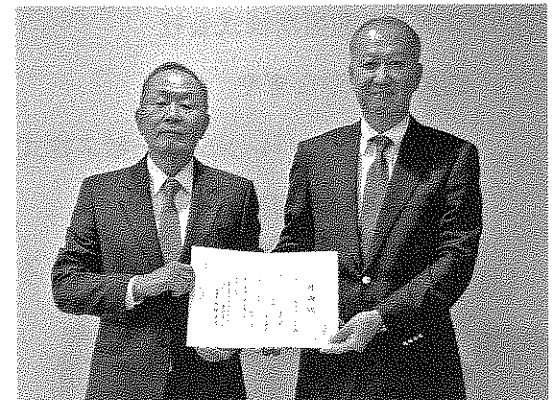
写真左 尼信かなめ会 大島会長
右 センター 井関理事長



写真左 株式会社神戸屋土山工場 井藤工場長
右 センター 高松理事

株式会社神戸屋土山工場様は加古川警察署の発案で交通安全啓発の標語を袋に印刷した菓子パンを製造、売上の一部を、「交通遺児らの心のケアに役立ててほしい」とのことで、当センターにご寄付を続けておられます。

兵庫トヨタ自動車株式会社様は1946年の設立以来、地域の一員として、地域の人との対話や交流を重視し、さまざまな活動を通じて、当社をとりまく人や組織からの信頼を得ることを目的としてCSRへの取り組みを続けておられます。



写真右 兵庫トヨタ自動車株式会社 瀧川社長
左 センター 井関理事長



写真右 ジャパンオンライン株式会社 生島社長
左 センター 井関理事長

ジャパンオンライン株式会社様は阪神間を中心として賃貸事業及び管理業務を営み、設立以来35年、会社経営理念の基、地域社会への奉仕活動に積極的に取り組んでおられます。

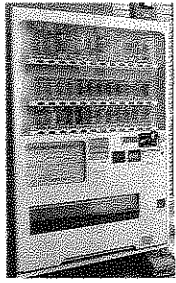
被害者支援自動販売機設置にご協力ありがとうございます

●平成29年4月～平成30年3月の間のご協力先様●

明石土建工業株式会社	セキスイハイム山陽株式会社
赤穂自動車教習所	株式会社タイガー
アサヒ飲料株式会社	ダイドービバレッジサービス株式会社
尼崎信用金庫職員生活協同組合	多木化学株式会社
淡路ヤクルト販売株式会社	株式会社田村組
淡路ワールドパークONOKORO	パレス神戸
株式会社伊藤園	日笠工業株式会社
株式会社伊藤テック	特定非営利活動法人西播磨サッカー協会
石見サービス株式会社	一般財団法人姫路市まちづくり振興機構
株式会社奥村組	兵庫県警察本部
金井自動販売株式会社	学校法人兵庫県自動車学校 西宮本校
株式会社カネカ	学校法人兵庫県自動車学校 明石校
株式会社加美乃素本舗	学校法人兵庫県自動車学校 姫路校
関西キリンビバレッジサービス株式会社	兵庫ヤクルト販売株式会社
関西建設工業株式会社	兵庫県立武道館
国津商事株式会社	株式会社北海
神戸スタンダード石油株式会社	株式会社ホテルニューアワジ
神戸星城高等学校	マイスター工房八千代
神戸日野自動車株式会社	松原運輸株式会社
コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社	マリン薬局
コベルコ教習所株式会社	株式会社マルジュエ
三久食品 やなぎや	武庫川女子大学
サントリービバレッジサービス株式会社	武庫川自動車学園
飾磨海運株式会社	宗像建設株式会社
株式会社ジャパンビバレッジウエスト	ヤスダ産業株式会社
新日鐵住金株式会社	

被害者支援自動販売機の設置についてのお問い合わせは
ひょうご被害者支援センターまでお気軽にご連絡下さい。

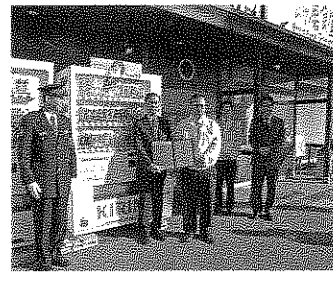
平成29年度に新しくご協力いただきました企業団体様



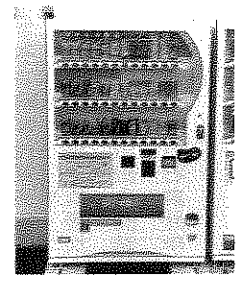
飾磨海運株式会社



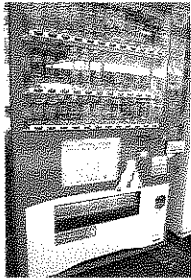
三久食品 やなぎや



セキスイハイム山陽株式会社



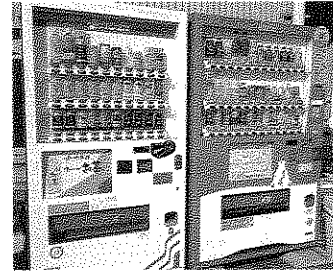
特定非営利活動法人
西播磨サッカー協会



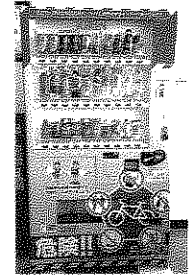
一般財団法人姫路市
まちづくり振興機構



兵庫県立武道館



松原運輸株式会社



武庫川自動車学園

赤穂自動車教習所

淡路ワールドパークONOKORO

株式会社奥村組

株式会社田村組

兵庫県内で57台の
支援型自販機を設置
していただいています

(2018年3月31日現在)。



団体賛助(敬称略)

赤穂地区警察官友の会

(株)アシックス

(一社)芦屋カンツリー倶楽部

阿比野建設(株)

網干警察官友の会

網干地区ダンプカー対策協議会長

尼崎信用金庫

(株)尼信経営相談所

尼新実業(株)

尼信情報システム(株)

尼信ビジネス・サービス(株)

尼信ビル(株)

尼信保証(株)

尼信リース(株)

(株)伊藤テック

印南養鶏農業協同組合

岩岡自動車(株)

岩見印刷(株)

(医)内海慈仁会 姫路北病院

大阪富士工業株式会社

(有)おはたま本舗

加古川地区企業防犯協会

(株)カネミツ

(株)加美乃素本舗

川崎重工業(株)

関西電力(株) 神戸支社

共栄印刷(株)

近畿システム管理(株)

(一財)敬愛まちづくり財団

皇漢堂製菓株式会社

工成建設(株)

神戸北ロータリークラブ

神戸空港ターミナル(株)

(株)神戸製鋼所

神戸電鉄(株)

神戸西地区警察官友の会

(株)神戸風月堂

国際ソロプチミスト但馬

三田運送株式会社

三宮センター街2丁目商店街振興組合

三宮センター街3丁目商店街振興組合

山陽バス(株)

飾磨地区警察官友の会

シスメックス(株)

(株)シマブンコーポレーション

ジャパンオンライン(株)

神姫バス(株)

(株)神鋼環境ソリューション

(株)親和福祉会

スバル興業(株)

須磨寺

(株)スリーエス

(株)セプレ24

(株)大栄

(株)たいよう共済 兵庫支店

宝塚警察署 宝和会

高羽財産区管理会

灘薬剤師会

ニシカワ食品(株)

(公社)西脇・多可シルバー人材センター

(株)日興商会

(株)ハマダ

(株)濱本ジェネラルコーポレーション

日笠工業(株)

姫路信用金庫

(株)兵栄

兵庫県警察信用組合

兵庫県警察本部 捜査第一課

(一社)兵庫県指定自動車教習所協会

(学)兵庫県自動車学校

兵庫トヨタ自動車(株)

(一社)兵庫県トラック協会

(株)藤橋商店

(公財)復光会 垂水病院

(公財)暴力団追放兵庫県民センター

(株)マルフク

三木市

ヤスタ産業(株)

UCCホールディングス(株)

(有)リサーチ兵庫

(株)ロック・フィールド

(一財)兵庫県交通安全協会

網干交通安全協会

須磨交通安全協会

垂水交通安全協会

加東交通安全協会

兵庫県 警友会

警友会 有馬支部

警友会 生田支部

警友会 加古川支部

警友会 西宮支部

警友会 神戸水上支部

警友会 神戸西支部

警友会 宍粟支部

警友会 須磨支部

警友会 洲本支部

警友会 高砂支部

警友会 たつの支部

警友会 垂水支部

警友会 豊岡支部

警友会 長田支部

警友会 西脇支部

警友会 姫路支部

警友会 美方支部

(公社)兵庫県防犯協会連合会

網干防犯協会

尼崎北防犯協会

淡路防犯協会

伊丹防犯協会

加東防犯協会

須磨防犯協会

洲本防犯協会

豊岡防犯協会

長田防犯協会

ほか匿名先 (あいうえお順に記載)

団体寄付(敬称略)

網干警察官友の会

網干防犯協会

尼信かなめ会

(一財)尼信地域振興財団

有馬交通安全協会

有馬防犯協会

生田防犯協会

出石防犯協会

(株)伊藤テック

うはら工場防犯協会

加東防犯協会

警友会 須磨支部

警友会 たつの支部

神戸市佛教婦人連合会

(株)神戸屋 土山工場

国際ソロプチミスト但馬

三宮センター街2丁目商店街振興組合

三宮センター街3丁目商店街振興組合

須磨寺

(株)大栄

垂水交通安全協会

灘薬剤師会

ニシカワ食品(株)

日笠工業(株)

姫路合同貨物自動車株式会社

(一財)兵庫県警察協会

兵庫トヨタ自動車(株)

兵庫県警察本部

・機動パトロール隊

・厚生課

・神戸優良・高齢運転者運転免許センター

・少年捜査課

・捜査第一課

兵庫県警察学校

尼崎東警察署

有馬警察署

生田警察署

伊丹警察署

小野警察署

神戸水上警察署

(株)神戸新聞社

神戸西警察署

三田警察署

飾磨警察署

須磨警察署

豊岡南警察署

西宮警察署

姫路警察署

兵庫警察署

養父警察署

(株)藤橋商店

まや鋼業(株)

(株)マルフク

三輪運輸工業(株)

養父市役所 市民課

和田興産(株)

ジャパンオンライン

ほか匿名先 (あいうえお順に記載)

(平成29年4月1日～平成30年4月28日)

～感謝～

募金キャンペーンご協力のお礼

当センターの活動開始から15年を経過し、さらに被害者のニーズに応じた途切れることのないきめ細やかな支援を継続・拡大していくために、広く募金への協力を呼び掛けて参りましたところ、100名様(団体を含む)のご参加をいただき総額574,000円と目標の50万円を達成することができました。心よりお礼申し上げます。

飲酒運転の撲滅を訴えるポスター ～掲示のお願い～

飲酒運転の車にひき逃げされ、23歳だった長女望さんを亡くした濱口雅子さんが、飲酒運転の撲滅を訴えるポスターを製作し、ポスターを掲示できる飲食店や事業所を募っています。ポスターには、美術大生だった望さんが予備校時代に描いた自画像と、スケッチブックからポップな画風のイラストを選び「STOP! 飲酒運転!」「ステキな飲み方してますか?」などの言葉を添えました。ポスターは縦約60センチ、横42センチのA2判で3類あり。掲示のご協力は公益社団法人ひょうご被害者支援センターまで。



兵庫県警察音楽隊 第24回定期演奏会 (於：西宮芸術文化センター)で広報啓発活動を行いました。

チラシを配布するボランティアの相談員→



←ひょうご地域安全まちづくり推進協議会での広報活動

ひょうご地域安全まちづくりセミナーでの広報活動



全国共通ナビダイヤルのご案内

当センターが加盟する全国組織の「全国被害者支援ネットワーク」では加盟団体の相談電話を補充する為ナビダイヤルによる相談電話業務を開始しました。

犯罪被害者等電話相談 **0570-783-554**

受付時間 7:30～22:00 (12/29～1/3までを除く)

開設時間内は、お住いのエリアの被害者支援センターにつながります。

次回シンポジウムのお知らせ

平成30年11月4日(日) 午後1時30分神戸風月堂ホールで開催いたします

私たちの活動は、会費や寄付等で支えられています。支援はすべて無料で行いますが、支援員の養成・研修・広報啓発活動・事務局の運営などに経費を必要とします。被害者の方が安心して相談できるための活動を理解し、ご支援・ご協力をお願い致します。

会員募集

ひょうご被害者支援センターの活動を支える仲間を募集しています。ご協力をお願い致します。

年会費	正会員	個人	5,000円	郵便振替 口座番号：00940-7-305791 口座名義：公益社団法人 ひょうご被害者支援センター
	賛助会員	個人	一口 1,000円(何口でも可)	
		団体	一口 10,000円(何口でも可)	



発行日：2018年5月
発行者：公益社団法人
ひょうご被害者支援センター
事務局：TEL 078-362-7512
URL：http://supporthyogo.org

編集後記

きめ細やかな支援は、民間の支援組織こそが果たせる役割かもしれません。1本の電話から支援に繋がることは多くあります。今年も6月から電話相談員養成講座が開催されます。一人でも多くの方に、養成講座を受講してもらいたいと思います。そして「被害者支援」を理解して頂けることを切に願っています。